

大分大学教育学部 附属教育実践総合センター

平成28年度教師を目指す学生のための教育臨床講座

教育実践総合センターでは、教師を目指すみなさんのより発展的な力量形成を目指した教育臨床講座を、昨年度より開催してきました。この機会にぜひとも参加してみませんか？

記

- ◇テーマ：グループアプローチ（集団支援）を通じた学級づくり
- ◇日時：【スケジュール】の通り。いずれも18:10～20:10
火曜日の月と木曜日の月があるので、間違えないように注意！
- ◇場所：教育学部403号教室
- ◇対象：教師を目指す学部3，4年生，大学院生

- ◇講師：高山 美津子先生

講師紹介： 現在、教育実践総合センター非常勤講師。大分市教育センターエデュ・サポートおおいた嘱託職員（相談員）。学校心理士。学校カウンセラー。大分市教育相談所主幹，大分市小学校校長を歴任し，発達障がいのある子どもや不登校の子どもへの支援の第一人者です。また，学級崩壊の予防にとどまらない，より積極的な集団支援，学級づくりを子ども理解に根ざした研究と実践を行っております。

高山先生から教師を目指す学生へのメッセージ： 自分の目の前にいる子どもの姿，学級の姿をどのようにイメージしますか？困った顔，涙する顔，真剣な顔，笑った顔。安心・安全で，所属感を味わうことのできる学級集団。目標に向かって主体的に取り組む学級。全ては，子ども理解からはじまります。参加者で，一緒に学び合い，支え合い，高め合い，教師としての教育臨床的対応力をつけていきましょう。

- ※ 会場の都合上，先着30名までとさせていただきます。
- ※ 教育臨床講座への参加を希望される方は，学籍番号のメールにて11月14日（月）までに jissenc@oita-u.ac.jp (実践センター) に，「氏名，学籍番号，選修等，学年」をご連絡ください。併せて，高山先生へのご質問も受け付けます。

大分大学教育学部 附属教育実践総合センター

〒870-0819 大分市王子新町1-1

電話：097-543-4933

担当 佐藤晋治

【スケジュール】

<p>第1回 11月17日(木) 18:10~20:10</p>	<p>「学校現場における今日的課題(1):不登校を考える」 今日の学校現場では、児童生徒の問題が、さまざまに表れており、多様化、複雑化、重複化している。ここでは、その中でも、最もよく出会う問題の一つである不登校の理解と対応について事例を通して学んでいく。また、不登校を未然に防ぐ取り組みである開発的・予防的教育相談の技法を体験する。</p>
<p>第2回 12月6日(火) 18:10~20:10</p>	<p>「学校現場における今日的課題(2):学級の荒れを考える」 授業中の私語、立ち歩き、学習意欲の低下、さらには教師への暴言など授業が成立しない状況が小学校現場に表れている。一旦、学級が荒れると、学級を立て直し日常化していくには、大きなエネルギーを要する。また、落ち着かない学級の中で、子どもの安心・安全が脅かされ、不登校やいじめが生じる。ここでは、学級集団の実態把握に基づいた学級づくりについて、体験を通して学んでいく。</p>
<p>第3回 1月19日(木) 18:10~20:10</p>	<p>「グループアプローチ(集団支援)の実際(1):グループアプローチとは?」 「生徒指導提要」には、集団指導と個別指導の意義について、「集団指導を通して個を育成し、個の成長が集団を発展させるという相互作用により、児童生徒の力を最大限に伸ばすことができる」とある。学力向上のベースには、学級力の向上がある。学校教育に取り入れられている、学校グループ・ワーク・トレーニングや構成的グループ・エンカウンター、ソーシャル・スキルトレーニング等を体験し、グループアプローチの意義について学ぶ。</p>
<p>第4回 2月16日(木) 18:10~20:10</p>	<p>「グループアプローチ(集団支援)の実際(2):活動案をつくらう」 学習指導要領の小中学校「特別活動」では、「集団の一員としてよりよい人間関係を築こうとする自主的、実践的態度の育成」や「望ましい人間関係の形成」を掲げている。ここでは、特別活動の授業をDVDで見てイメージしながら、学級集団の成長段階や人間関係の形成状況に応じて目標を設定し、グループワークの活動案を作成する。また、主体的・協働的な学びを体験する。</p>
<p>第5回 3月7日(火) 18:10~20:10</p>	<p>「グループアプローチ(集団支援)の実際(3):グループアプローチを実際にやってみよう」 4でつくった活動案を、実際にやってみることで、自身の社会性の向上を図る。また、今日的教育課題の未然防止に向けた視点を持つことで実践的な指導力を身につけていく。</p>